福岡とびうめ応援レター部
～福岡 STUDENT-REPORTERS～

福岡女学院 VS 高松商業

インターハイ 女子バレーボール

ストレート勝ち 初戦突破

令和７年８月５～９日に岡山市で開催されたインターハイ女子バレーボール競技にて、福岡県代表の福岡女学院高等学校を取材させていただきました。

私たちとびうめ応援レター部が体育館に入ったときから、試合に向けた練習・調整に取り組まれていて、観客席からは生徒・保護者による声援が力強く聞こえてきました。本番さながらの緊張感があり、気合が感じられました。

選手たちは試合中だけでなく試合前後でも各場面で心を一つにし、ミスをカバーし合い、励ましあっている姿がとても印象に残りました。試合は、躍動感ある動きが会場をざわめかせていました。

インハイTV POCARI SWEAT
全国高体連公式
インターハイ応援サイト
← 試合の様子やライブ映像も閲覧可能です！

もう一回が無い試合、さらなる高みを目指して

主将　萩原 千尋選手(３年)
ポジション：セッター

Q. 成長を感じる瞬間を教えてください。
A. 自分が相手のブロックを騙した時や、チームが自分のトス回しで勝った時に成長したなと感じます。
Q. 「美しいバレー」が合言葉だと思うんですけど、「美しいバレー」とは何ですか。
A. 女学院は高１の時から基礎基本の練習をすごくたくさんするし、ワンボールの精度とか雑なプレイとかがないようなバレーボールを目指しています。
Q. 主将としてチームのまとめ方など普段どのようにしていますか。
A. いろんな人の変化を見抜けないといけないと思っているので、今日いつもと違うなって人がいたら自分から話しかけにするようにしているし、できるだけ全員とコミュニケーションをとるようにしています。
Q. インターハイを目指している人にメッセージをお願いします。
A インターハイに出るのは絶対に簡単なことではないと思うけど、自分たちの力を信じてどのチームよりも楽しくボールをつなげば絶対に勝てると思うので頑張ってほしいです。

Q. チーム作りで一番大切にしていることは何ですか。
A. 普段の生活がコートのなかにも表れるということを常に子どもたちに指導しているので、バレーが強いチームとして普段の私生活からバレーをしていると意識させています。
Q. 試合中選手にどんな声掛けをしていますか。
A. やっぱり子どもたちの性格というのがあるので、緊張する子に関しては盛り上げることをしていますし、集中して「よしここや！」というところに関しては、自分はポジティブな試合づくりを目指しています。
Q. 「美しいバレー」が合言葉だと思うんですけど、「美しいバレー」とは何ですか。
A. コンビバレーで相手にブロックをふんで（ボールを）回していくことこそ「美しいバレー」なのかなと思います。

監督　大谷 弘之先生

引率教諭	中藤　昭信（稲築志耕館）		小山　貴大（飯塚）
担当生徒	鋤崎　万里彩（飯塚）		藤井　沙朱（小郡）
	三宅　杏奈（小倉南）		高橋　優太（小郡）

配信元　福岡県高等学校体育連盟　TEL　092－621-9394　FAX　092－621-9431